

平成 23 年度

# 推薦入試学生募集要項

- 推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない推薦入試）  
人間発達文化学類 スポーツ・芸術創造専攻  
行政政策学類  
経済経営学類  
夜間主コース（現代教養コース）  
共生システム理工学類
  
- 推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す推薦入試）  
人間発達文化学類 人間発達専攻・文化探究専攻



国立大学法人

福島大学

Fukushima University

〒960-1296

福島市金谷川1番地

☎024-548-8064（入試課）

<http://www.fukushima-u.ac.jp/>

携帯電話  
サイト



# 目 次

ページ

Ⅰ アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	1
Ⅱ 推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない推薦入試）	3
1. 募集人員等	
2. 出願資格	
3. 推薦要件	
4. 選抜方法	
5. 採点・評価	
6. 試験時間割	
7. 出願手続	
8. 合格者の発表	
9. 入学手続	
10. 予告	
Ⅲ 推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す推薦入試）	12
1. 募集人員等	
2. 出願資格	
3. 推薦要件	
4. 選抜方法	
5. 採点・評価	
6. 試験時間割	
7. 出願手続	
8. 合格者の発表	
9. 入学手続	
10. 予告	
Ⅳ 障害のある入学志願者の事前相談	18
Ⅴ 合格しなかった者の取り扱い	18
Ⅵ 入試情報の開示	18
Ⅶ 志願者の個人情報保護	20
大学案内図	本要項末

この要項には、以下のものが添付されているので確認してください。

- ・入学志願票，写真票，受験票（推薦入試Ⅰ 各学類別）
- ・入学志願受付票，入学志願票，写真票，受験票（推薦入試Ⅱ）
- ・推薦書（推薦入試Ⅰ，推薦入試Ⅱ）
- ・実技実績調査書（人間発達文化学類 スポーツ・芸術創造専攻用）
- ・志願理由書（各学類別）
- ・検定料納入書
- ・受験票等返送用封筒
- ・宛名票（シール）
- ・出願用封筒

# I アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

## ◎人文社会学群

### （人間発達文化学類）

#### (1) 推薦入試Ⅰ（スポーツ・芸術創造専攻）

人間発達文化学類では、スポーツにおける優れた実績や、音楽演奏や美術作品制作における優れた技能をもつ学生を求めます。こうした能力をさらに高めるとともに、人に教えたり、社会の中で活用したり、地域の発展に役立てるなど実践的に応用するためには、実技能力を磨くのみならず、高校時代の各教科の基礎をしっかりと身につけておくことが大切です。

入学者選抜では、出身学校までの実技実績を評価し、音楽・美術においては実技試験を行います。さらに小論文・面接により基礎学力及び人間や社会に対する問題意識をみて総合的に合格者を決定します。

#### (2) 推薦入試Ⅱ（人間発達専攻／文化探究専攻，教員志望）

人間発達文化学類では、将来教員をめざす学生を広く募集しています。将来教員になるための教育を受けるには、子どもへの深い愛情や教職への強い意志ばかりではなく、高校時代から教育問題や子ども問題、社会問題に関心を持つとともに、得意な教科や学問領域の意味内容をよく理解しなければなりません。幼稚園や小学校、特別支援学校、中学校・高校の教員（国語・英語・社会・地歴・公民・家庭科・数学）をめざす学生を求めます。

入学者選抜では、大学入試センター試験の成績と、教育や社会に対する問題意識をみる面接の成績により、総合的に合格者を決定します。

### （行政政策学類）

新しい地域社会づくりに関心を持ち、地域社会の発展に貢献しようとする学生を受け入れます。

- 流動的な社会の変化に対応し、過去に例のない課題に対して果敢に挑む意欲を持つこと。
- 課題発見能力、主体的に調査を行う積極的な姿勢と行動力、意見交換によって解決策を考えだすための発言力或いは論点整理力、考案した政策を他の人々に説明するための表現力とコミュニケーション力を持つこと。
- 小論文においては新聞や時事評論など現代社会の諸問題および地域の諸課題に関する素材を用いて、読解力、分析・統合力、表現力を判断します。
- 面接においては、現代社会の諸問題および地域の諸課題への関心を問います。

### （経済経営学類）

現代社会で起こっている様々な問題に関心を持ち、それらを経済・経営の視点でとらえる能力をもつことによって、社会での実践力を養いたいと考える学生を受け入れます。こうした観点から、これまでの生活において特記すべき活動歴を有し、行動力や創造力のある意欲的な皆さんを対象にA推薦入試を実施しています。簿記や情報関連の資格取得に取り組んで着実な成果をあげ、この基礎学力をより実践的に発展させていこうとする意欲的な皆さんを対象にB推薦入試を実施しています。外国語関連の資格取得に取り組んで着実な成果をあげ、世界的視野に立った問題関心やコミュニケーション能力をもつ意欲的な皆さんを対象にC推薦入試を実施しています。

A・B・C推薦入試それぞれに小論文と面接によって選抜します。小論文では、一定の素材を与え、読解力、思考力、表現力等を総合的にみます。面接では推薦書、志願理由書に基づいて質問を行い、問題意識や勉学意欲を総合的にみます。

### 夜間主コース（現代教養コース）

人文社会学群夜間主コース（現代教養コース）は、現代社会が直面する問題を解決するための、

あるいは人間性を探究するための、“新しい教養”を求めようとする人のためのコースです。新しい時代には、現実社会に対する関心を持ち、広い視野に立ってものごとを考えようとする人、自ら課題を発見し、自らの力で考え取り組んでいこうとする人が求められています。本コースはそのような課題意識を有する学生を受け入れます。

昼間に仕事を持ちながら4年間修学するということは、昼間コース以上に強い意志を必要とします。働きながら学びつつ、自己の目標に向かってしっかり努力することが必要です。選抜は、面接の成績によって行いますが、何のために夜間主コースの学びを選択するのかということをごきちんと考えたうえで受験してください。

## ◎理工学群

### (共生システム理工学類)

- (1) 人－産業－環境の科学に共生の観点から取組む教育・学問体系を構築します（知の創造）。
- (2) 21世紀の人間社会の問題解決に挑戦し、平和で安心して生活できる持続可能な環境・社会共生の実現に貢献する文理融合型で実践力のある理工学系の人材を養成します（知の継承）。
- (3) それらを通して社会に貢献します（知の活用）。

人間について知りたい、ものづくりや経営に興味がある、自然や環境を調べたい、の少なくともどれか一つに当てはまり、人間社会が抱える問題にも関心がある皆さんの入学を歓迎します。本学類での学習は、高校までの数学・理科を基礎に発展させますが、変化を続ける人間社会とその課題を理解する力も必要です。そのため、この学類への入学と勉学に強い意欲を持つ人を対象に、本学で学ぶために必要な基礎学力、柔軟な思考力、分析・観察力を評価し、入学者を選抜します。なお、入学の1年後には専攻配属が行われますが、各専攻の教育は以下のような特色をもっています。

#### [人間支援システム専攻]

ヒト理解や人間支援またはそれらの基礎となる分野に強い関心があり、卒業後、人間支援技術分野で活躍したいと考えている人、特に、心理学や生理学などの生体システム科学、情報工学や機械・電気・電子工学などを基礎とする人間支援の技術開発に強い関心と意欲のある人を求めます。この専攻では、他大学では複数学科にまたがっているヒト理解と人間支援に必要な基礎・専門科目を総合的に学ぶことができます。

#### [産業システム工学専攻]

ものづくりが好きで企業経営にも強い関心があり、卒業後、製造業、起業家、弁理士などの産業支援分野で活躍したいと考えている人、特に、化学工学、材料工学などを基礎とする環境負荷の少ないものづくり技術や、情報工学、経営工学などの数理科学、およびそれらを基礎とする省資源・循環型社会システムの構築に強い関心と意欲のある人を求めます。この専攻では、他大学では複数学科にまたがっているものづくりに必要な基礎・専門科目と産業社会システムに関する基礎・専門科目を総合的に学ぶことができます。

#### [環境システムマネジメント専攻]

水資源などを中心とした自然資源の確保・保全に強い関心があり、卒業後、環境管理者、環境計量士、公害防止者として活躍したいと考えている人、環境分析化学、浄化工学、生態学や地域計画、流域管理計画などを基礎とする環境システムの学習に強い関心と意欲のある人を求めます。この専攻では、他大学では複数学科にまたがっている環境の科学と保全・管理に必要な環境システムに関する基礎・専門科目を総合的に学ぶことができます。

小論文、面接、志願理由書および調査書により、基礎学力、理解力、論理的な思考能力と表現能力を持つ人を選抜します。調査書の全体の評定平均値が4.0以上の人を対象としており、高等学校の間に勤勉な学習を重ねた人を期待します。

## Ⅱ 推薦入試 I (大学入試センター試験を課さない推薦入試)

### 1. 募集人員等

学類・専攻		入試区分・募集人員	1校で推薦できる人数	出願期間	試験日	合格者発表	入学手続
人間発達文化学類	スポーツ・芸術創造専攻	スポーツ 12名 芸術 8名 (音楽4名, 美術4名)	3名	11月1日(月) ～ 11月5日(金)	11月17日(水) 予備日 (スポーツに限る) 11月18日(木)	11月 25日(木)	12月 12日(日)
行政政策学類	法学専攻 地域と行政専攻 社会と文化専攻	20名	制限なし		11月17日(水)		
経済経営学類	経済分析専攻 国際地域経済専攻 企業経営専攻	A推薦 20名 B推薦 30名 C推薦 10名	3名		11月24日(水)	12月 3日(金)	
夜間主コース (現代教養コース)	人間発達文化学類 行政政策学類 経済経営学類	20名	3名		12月1日(水)	12月 3日(金)	
共生システム理工学類	人間支援システム専攻 産業システム工学専攻 環境システムマネジメント専攻	20名	制限なし		11月20日(土)	11月 25日(木)	

#### 注1 所属専攻・学類について

行政政策学類：所属専攻は，1年次後期に本人の希望を考慮して決定します。

経済経営学類：所属専攻は，2年次前期に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します。

夜間主コース：所属学類は，1年次後期に本人の希望に基づいて決定します。

共生システム理工学類：所属専攻は，1年次後期末に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します。

#### 注2 1校で推薦できる人数について

人間発達文化学類と経済経営学類の「1校で推薦できる人数」については，1学類につき3名までとなります。入試区分ごとの人数ではありません。

### 2. 出願資格 (人間発達文化学類, 行政政策学類, 夜間主コース, 共生システム理工学類)

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 高等学校 (特別支援学校 (盲学校, 聾学校および養護学校を含む。)) の高等部ならびに中等教育学校の後期課程を含む。) を平成23年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定により平成22年度中に高等学校を卒業または卒業見込みの者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を平成22年4月から平成23年3月までに修了または修了見込みの者

### 出願資格（経済経営学類）

次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 高等学校（特別支援学校（盲学校、聾学校および養護学校を含む。）の高等部ならびに中等教育学校の後期課程を含む。）を平成22年3月以降に卒業または平成23年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定により平成21年4月以降年度の途中で高等学校を卒業または卒業見込みの者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を平成21年4月から平成23年3月までに修了または修了見込みの者

### 3. 推薦要件

志願する学類・入試区分のすべての推薦要件に該当する者のうち、学校長が責任を持って推薦し、合格した場合には入学することを確約できるものとしてします。

学類・専攻名		入試区分	推 薦 要 件
人間発達 文化学類	スポーツ・ 芸術創造専攻	スポーツ	(1) 調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者 (2) 次の種目において、優れた技能を有し、全国大会（国民体育大会、全国高校総合体育大会、全国高校選手権大会等の競技会）またはブロック大会に出場した者 陸上競技、体操競技、バレーボール、バスケットボール、サッカー、剣道、ダンス、ハンドボール、テニス（ソフトテニスは含まない。）
		芸 術 (音楽)	(1) 調査書の全体の評定平均値が3.5以上で、受験する科目（音楽）の評定平均値が4.3以上の者 (2) 音楽において優れた技能を有する者 分野は、声楽、ピアノ、管弦打楽器（試験に持参できるものに限る。）、作曲、指揮とする
		芸 術 (美術)	(1) 調査書の全体の評定平均値が3.5以上で、受験する科目（美術）の評定平均値が4.3以上の者 (2) 美術において優れた技能を有する者 分野は特に限定しない
行政政策学類			(1) 調査書の全体の評定平均値が4.3以上の者 (2) 現代社会の諸問題や地域の諸課題について関心がある者
経済経営学類 * 1		A推薦	(1) 調査書の全体の評定平均値が4.3以上の者 (2) 出身学校において特記すべき活動歴を有する者 例) 課題研究（グループ研究を含む。）で優れた業績を作成した者。生徒会・部活動等において責任のある役割を経験した者。スポーツ・文化等の分野において活躍した者。各種の資格試験・検定試験等に合格した者。学外における社会活動に積極的に参加した者。 (3) 学力・人物が優れている者

学類・専攻名	入試区分	推 薦 要 件
経済経営学類 * 1	B 推薦	(1) 調査書の全体の評定平均値が4.3以上の者 (2) 以下の検定試験のいずれかに合格している者 ① 日本商工会議所主催 簿記検定試験1級または2級（なお、1級に合格している者は推薦書裏面の資格記入欄に朱記すること。） ② (財)全国商業高等学校協会主催 簿記実務検定試験第1級試験 ③ (財)全国商業高等学校協会主催 情報処理検定試験第1級試験 ④ 経済産業省認定（情報処理推進機構 情報処理技術者試験センター実施）基本情報技術者試験 ⑤ 経済産業省認定（情報処理推進機構 情報処理技術者試験センター実施）初級システムアドミニストレータ試験 (3) 学力・人物が優れている者
	C 推薦	(1) 調査書の全体の評定平均値が4.3以上の者 (2) 以下の語学検定試験のいずれかにおいて、一定の基準に達している者 ① (財)日本英語検定協会主催 実用英語検定（英検）2級以上（なお、準1級以上に合格している者は推薦書裏面の資格記入欄に朱記すること。） ② (財)国際ビジネスコミュニケーション協会主催 TOEIC500点以上（なお、700点以上の点数を取得している者は推薦書裏面の資格記入欄に朱記すること。）（TOEICのIP（Institutional Program）は除く。） ③ 国際教育交換協議会主催 TOEFL CBT150点以上（なお、190点以上の点数を取得している者は推薦書裏面の資格記入欄に朱記すること。） ④ 国際教育交換協議会主催 TOEFL PBT470点以上（なお、520点以上の点数を取得している者は推薦書裏面の資格記入欄に朱記すること。） ⑤ 国際教育交換協議会主催 TOEFL iBT52点以上（なお、68点以上の点数を取得している者は推薦書裏面の資格記入欄に朱記すること。） ⑥ (財)ドイツ語学文学振興会主催 ドイツ語技能検定試験（独検）4級以上 ⑦ (財)フランス語教育振興協会主催 実用フランス語技能検定試験（仏検）5級以上 ⑧ 日本中国語検定協会主催 中国語検定試験（中検）準4級以上 ⑨ 東京ロシア語学院主催 ロシア語能力検定試験4級以上 ⑩ (財)日本スペイン協会主催 スペイン語技能検定試験5級以上 (3) 学力・人物が優れている者
夜間主コース （現代教養コース）		(1) 調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者 (2) 就職が内定している者、または入学後に就業しながら修学する意思を確約できる者のいずれか* 2 (3) 学力・人物が優れている者

学類・専攻名	入試区分	推 薦 要 件
共生システム理工学類		(1) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者 (2) 将来、人間を支援するシステム（ロボット等）の開発、省資源・最適化生産（材料・エネルギー・情報等）システムの開発、環境の保全と管理に携わることを強く希望する者

\* 1 推薦する場合の留意点：試験科目に英語は課していませんが、経済経営学類では英語を含む語学教育を重視したカリキュラムを実施しているため、推薦される者にはその点への留意が必要です。

\* 2 就職とはアルバイト、パートを含み、労働時間が週平均20時間以上のものに限りです。

(注) 国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、1つの大学・学部（学類）に限ります。

#### 4. 選抜方法

大学入試センター試験を課さずに、以下の方法によって行います。

なお、出願書類は判定の基礎資料として利用します。

学類・専攻名	入試区分	選 抜 要 件
人間発達文化学類	スポーツ	小論文（100点満点）、面接（実技を含む。100点満点）、実技実績評価（100点満点）の成績の総合点により判定します。ただし、小論文および面接の得点が一定の点数（30点）に達しない者は、合格者とはなりません。また、1種目の合格者数は募集人員の半数を超えないものとします。
	芸術（音楽・美術）	小論文（100点満点）、面接（実技実績、提出作品の評価を含む。100点満点）、実技試験（100点満点）の成績の総合点により判定します。ただし、小論文および面接、実技試験の得点が一定の点数（30点）に達しない者は、合格者とはなりません。
行政政策学類		小論文（100点満点）、面接（50点満点）の成績の総合点により判定します。
経済経営学類	A推薦	小論文（100点満点）、面接（100点満点）の成績の総合点により判定します。
	B推薦	小論文（100点満点）、面接（100点満点）、朱記要件加算（50点）の成績の総合点により判定します。
	C推薦	小論文（100点満点）、面接（100点満点）、朱記要件加算（50点）の成績の総合点により判定します。
夜間主コース（現代教養コース）		面接（100点満点）の成績に基づいて判定します。
共生システム理工学類		小論文（40点満点）、面接（60点満点）の成績の総合点により判定します。

## 5. 採点・評価

小論文・面接・実技検査（注 人間発達文化学類については、8ページの実技検査の持参品も必ず参照すること。）

学類・専攻名		入試区分	小論文	面接・実技検査
人間発達文化学類	スポーツ・芸術創造専攻	スポーツ	スポーツや健康についての資料を与え、1,000字程度で論述させ、スポーツや健康に対する論理的思考力を総合的にみます。	<p><b>面接：</b>スポーツに関する基礎的な知識と、生涯にわたってスポーツに携わっていくことへの意欲や関心を総合的にみます。また、実技検査を行い、専門種目の技能を評価します。</p> <p><b>実技実績評価：</b>競技成績に基づいて点数化します。</p>
		芸術 (音楽・美術)	芸術や文化についての資料を与え、1,000字程度で論述させ、論述能力をみるとともに、芸術・文化に対する知識や関心などを総合的にみます。	<p><b>実技試験：</b>音楽は、専門として出願した分野が演奏（声楽、ピアノ、管弦打楽器）の場合は、あらかじめ出願者が準備した任意の曲（複数も可）を演奏し（声楽、ピアノは暗譜）、作曲および指揮の場合は、和声課題（四声体）を解答させます。その結果をもとに、広い観点から、音楽性、技術性、芸術性、可能性などを判断します。</p> <p>美術は、以下の3問の中から出願時にあらかじめ受験者が1問を選択します。</p> <p>① 素描（鉛筆または木炭によるデッサン） 形態把握力、質感表現力、色彩感覚、構成力等を含めた総合的な表現力をみます。</p> <p>② デザイン（平面構成） 発想力、計画性、構成力、技巧性、色彩感覚等を含めた総合的な表現力をみます。</p> <p>③ 立体造形（塑造） 構築性、質感表現力、量感表現力、発想力等を含めた総合的な表現力をみます。</p> <p><b>面接：</b>提出資料に基づいて、過去の実技実績や芸術文化に関する活動内容等を評価し、専門領域への関心や意欲をみます。</p> <p>音楽は、過去の実技実績、すなわち演奏や発表の実績（演奏、発表、受賞）や専門分野に関する活動（サークル活動・社会活動など）の資料、作品や演奏の録音・録画などの記録の提出を求めます。</p> <p>美術は、過去の実技実績（制作した作品や展覧会、コンクール等での発表活動）や専門分野に関する活動（サークル活動・社会活動など）の資料提出を求めます。</p>

学類・専攻名	入試区分	小論文	面接・実技検査
行政政策学類		現代社会の諸問題や地域における諸課題についての資料を示し、それに関して800～1,000字程度で論述させ、資料を正確に理解し、知識や問題意識を的確に論述することができるかを総合的にみます。	志願理由書をもとに、志望動機および入学意思が明確か、勉学意欲が旺盛か、現代社会の諸問題や地域の諸課題に強い関心と深い知識があるか、説明能力があるかを総合的にみます。
経済経営学類	A推薦 B推薦 C推薦	一定の素材を与え、それに関連して1,200字以内で論述させ、読解力、思考力、表現力等を総合的にみます。	推薦書、志願理由書に基づいて質問を行い、問題意識や勉学意欲を総合的にみます。
夜間主コース (現代教養コース)		—————	推薦書、志願理由書に基づいて質問を行い、問題意識や勉学意欲等を総合的にみます。
共生システム理工学類		資料に基づき論述させ、理解力、思考力、表現力等を総合的にみます。	基礎学力に関する面接員の質問に的確に答えられるか、また、志望動機の適切性、積極性等について評価します。

### 実技検査の持参品（人間発達文化学類）

入試区分	持参品
スポーツ	<p>運動着および次に示すもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技：スパイクシューズ（ピン9mm以下）・スローイングシューズを持参しても構いません。</li> <li>・剣道：竹刀、剣道具</li> <li>・サッカー：スパイクおよび屋内用運動靴</li> <li>・ハンドボール：屋内用運動靴</li> <li>・バスケットボール：屋内用運動靴</li> <li>・バレーボール：屋内用運動靴</li> <li>・テニス：ラケット、テニスシューズ</li> </ul>
芸術 (美術)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素描：鉛筆デッサンの場合…鉛筆、消し具、カッターナイフ 木炭デッサンの場合…木炭、消し具、パン、ガーゼ、芯抜き</li> <li>・デザイン：鉛筆、消し具、カッターナイフ、紙きりハサミ、ポスターカラー、筆、パレット、三角定規1組、直定規（目盛りつき）、コンパス</li> <li>・立体造形：鉛筆、消し具、カッターナイフ、粘土ベラ</li> </ul>

## 6. 試験時間割

学類・専攻名		入試区分	試験日	試験科目等	試験時間
人間発達 文化学類	スポーツ・ 芸術創造専攻	スポーツ	11月17日(水)	小論文	9:00~10:30
				面接	11:00~17:00
			11月18日(木) (予備日)	面接	9:00~17:00
		芸 術 (音楽・美術)	11月17日(水)	小論文	9:00~10:30
				実 技	11:00~12:30
				面接	13:30~17:00
行政政策学類			11月17日(水)	小論文	9:00~10:30
				面接	11:00~17:00
経済経営学類		A推薦 B推薦 C推薦	11月24日(水)	小論文	9:00~10:30
				面接	11:00~17:00
夜間主コース (現代教養コース)			12月1日(水)	面接	集合時間については、受験票送付の際にお知らせします。
共生システム理工学類			11月20日(土)	小論文	10:00~11:30
				面接	13:00~17:00

試験場は福島大学（福島市金谷川1番地）です。

本要項末の大学案内図を参照してください。試験室および控室等については、試験当日、受験に関する諸掲示場に掲示します。

## 7. 出願手続

### (1) 出願期間

平成22年11月1日(月)～11月5日(金) 午後5時まで

### (2) 願書提出先

福島大学入試課 〒960-1296 福島市金谷川1番地 ☎024-548-8064

### (3) 出願方法

入学志願者は、次の書類を取り揃え、この要項に添付した出願用封筒により、必ず書留速達にして郵送してください。出願期間を過ぎた場合は受理できません。郵送期間を十分考慮して早めに送付してください。ただし、平成22年11月4日(木)以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理します。

なお、本学所定の封筒以外で郵送する場合は、「○○（志願する学類名）学類推薦入試願書在中」と朱書し（夜間主コース（現代教養コース）の志願者は「夜間主コース（現代教養コース）推薦入試願書在中」と朱書し）、必ず書留速達にしてください。

持参の場合、窓口受付時間は午前9時から午後5時までです。ただし、土曜日・日曜日・祝日は除きます。

出願に必要な書類	摘 要
1. 入学志願票, 写真票, 受験票	本学所定の用紙 写真: 出願以前3か月以内に撮影したものを指定の場所に貼付してください。 (上半身, 正面, 脱帽, 縦4cm×横3cm)
2. 志願理由書	本学所定の用紙 志願者本人が作成したもの。
3. 推薦書	本学所定の用紙 出身学校長が作成したもの。
4. 調査書	出身学校長が作成し厳封したもの。
5. 実技実績調査書 および添付書類 (人間発達文化学類のみ)	本学所定の用紙 出身学校長が作成したもの。添付資料は, 実技実績調査書裏面の記入要領を 参照してください。
6. 検定試験関係書類 (経済経営学類B, C推薦のみ)	指定された検定試験の合格証等の写し
7. 検定料納入書 (大学提出用)	本学所定の用紙に必要事項を記入の上, 人間発達文化学類, 行政政策学類, 経済経営学類, 共生システム理工学類の場合, 検定料17,000円, 夜間主コース の場合, 検定料10,000円とともに金融機関(郵便局・ゆうちょ銀行を除く。)の窓口へ持参し振り込んでください。ATM(現金自動預払機), 携 帯電話およびパソコン等からの振り込みはできません。 振り込み時に「検定料納入書」に領収印が押印してあることを確認して受け 取り, 大学提出用を出願書類に同封してください。 入学願書を受理した後は, いかなる理由があっても検定料は返還できません。
8. 受験票等送付用封筒	本学所定の封筒 志願者本人の郵便番号, 住所, 氏名を記入し, 350円分の切手を貼付してく ださい。
9. 宛名票(シール)	本学所定の用紙 合格通知を受けるところの郵便番号, 住所, 氏名を記入してください。

(4) 志願票等出願書類の記入上の注意

- ① 黒か青のボールペンか万年筆を用い, 楷書で記入してください。ワープロも可。
- ② 誤って記入した場合は, 誤記入の部分を二重線で消し訂正してください。

(5) 出願状況について

本学「入試情報」ホームページに公開します。

## 8. 合格者の発表

- ・人間発達文化学類, 行政政策学類, 共生システム理工学類

平成22年11月25日(木) 午前11時

- ・経済経営学類, 夜間主コース(現代教養コース)

平成22年12月3日(金) 午前11時

本学中央広場の掲示板および本学「入試情報」ホームページ(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に合格者の受験番号を掲示します。合格者には「合格通知書」および入学に必要な手続・諸経費等を記載した「合格者心得」を送付します。

なお, 学校長には選考結果を文書で通知します。

電話等による合否の問い合わせには応じません。

合格者発表当日は、インターネット回線が混雑するため、つながりにくい場合があります。

J R福島駅やJ R金谷川駅周辺で行われている合否電報受付等については、本学は一切関知していませんので十分注意してください。

## 9. 入学手続

- (1) 合格者は、下記期日に入学手続を完了してください。

平成22年12月12日(日) 午前10時から午後4時まで

直接来学できない場合、上記期日以前に、郵送での入学手続期間があります。詳細は「合格者心得」に記載します。

指定期日までに入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を失います。

なお、入学手続完了後に他の国公立大学に入学手続をすることは認められません。

- (2) 入学手続に際しては、入学料等を納付するほか、「合格者心得」に記載の書類を提出しなければなりません。

原則として、推薦入試に合格した者は入学を辞退することは認められません。ただし、特別な事情により入学を辞退する場合には、平成22年12月12日(日)までに「推薦入試辞退願（様式は任意）」を出身学校長名により、理由を付して提出してください。本学の入学辞退許可を得ずに、他の国公立大学（国際教養大学および新潟県立大学を除く。）の個別学力試験等を受験しても合格者とはなりません。

- (3) 入学時の大学への納入金

・人間発達文化学類、行政政策学類、経済経営学類、共生システム理工学類

入学料 282,000円（予定）

授業料（前期分） 267,900円（予定）

（年額535,800円（予定））

・夜間主コース（現代教養コース）

入学料 141,000円（予定）

授業料（前期分） 133,950円（予定）

（年額267,900円（予定））

注1 授業料は申し出により、前期分納入の際に後期分も合わせて納入することができます。

注2 入学時および在学中に入学料・授業料の改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

（参考）その他の諸経費

入学料および授業料以外の入学時の修学関係経費および各種会費の詳細については、「合格者心得」送付の際にお知らせします。

## 10. 予 告

平成24年度入試から、経済経営学類推薦入試B推薦において、推薦要件の1つである検定試験『⑤ 経済産業省認定（情報処理推進機構 情報処理技術者試験センター実施）初級システムアドミニストレータ試験』を削除します。

## Ⅲ 推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す推薦入試）

### 1. 募集人員等

学類・専攻名		募集人員	1校で推薦できる人数	出願期間	試験日	合格者発表	入学手続
人間発達文化学類	人間発達専攻 文化探究専攻	60名	5名	平成22年 12月6日(月) ～ 12月10日(金)	平成23年 1月19日(水) または 1月20日(木)	平成23年 2月4日(金)	平成23年 2月13日(日)

次の5つの区分で募集します。

受 験 区 分	人 数
① 小学校教員または幼稚園教員になることを強く希望する者	30名
② 特別支援学校教員になることを強く希望する者	10名
③ 中学校・高等学校教員（国語科，社会科・地歴科・公民科，英語科）になることを強く希望する者	6名
④ 中学校・高等学校教員（家庭科）になることを強く希望する者	4名
⑤ 中学校・高等学校教員（数学科）になることを強く希望する者	10名

（注）1. 所属専攻は，入学手続完了後に本人の希望により決定します。

2. 入学後は，出願時に強く希望した受験区分の免許を取得することになります。

### 2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 高等学校（特別支援学校（盲学校，聾学校および養護学校を含む。）の高等部ならびに中等教育学校の後期課程を含む。）を平成23年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定により平成22年度中に高等学校を卒業または卒業見込みの者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を平成22年4月から平成23年3月までに修了または修了見込みの者

### 3. 推薦要件

次のすべての推薦要件に該当する者のうち、学校長が責任を持って推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者とします。

学類・専攻名		推 薦 要 件
人間発達文化学類	人間発達専攻 文化探究専攻	(1) 学業、人物ともに優れ、小学校、中学校・高等学校の国語科、数学科、社会科・地歴科・公民科、家庭科、英語科、特別支援学校、幼稚園の教員になることを強く希望する者 (2) 平成23年度大学入試センター試験における試験教科・科目のうち、本学が課した教科・科目をすべて受験する者

(注) 国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、1つの大学・学部（学類）に限ります。

### 4. 選抜方法

大学入試センター試験の成績および面接の成績の総合点により判定します。

なお、出願書類は判定の基礎資料として利用します。

### 5. 採点・評価

(1) 大学入試センター試験および個別学力検査等について

教科	大学入試センター試験の利用教科・科目名	個別学力検査等の科目	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							
			国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	配点合計
国	国（必須）	面 接	200	100 * (100)	100 * (100)	200	100 * 200	200	900	1,800
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B									
公民	現社, 倫, 政経									
理	理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1または2									
数	数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数B, 工, 簿, 情報から1									
外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目または6教科7科目)									

- ① 「地理歴史」、「公民」、「理科」については、指定された範囲の中で指定された科目数以上受験している場合は、「地理歴史」と「公民」の中の高得点の科目、「理科」の中の高得点の科目、および以上2科目を除いて「地理歴史」、「公民」、「理科」の中で高得点の科目を用います。
- ② 「英語」については、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を、配点（200点満点）に圧縮して利用します。リスニングテストを免除された場合および「英語」以外の科目の場合は、筆記試験（200点満点）の成績をそのまま利用します。
- ③ 配点に（ ）を付してある教科は、選択教科を表します。
- ④ \*印は、理科2科目を選択した場合の配点です。

(2) 面接について

面接場面での質疑応答を通して、受験生の理解力、思考力、表現力とともに、学校教育等に対する関心、意欲、適性等を総合的にみます。面接は、個人または集団で行います。面接時に資料を配付し、その資料に基づいて質疑応答を行うことがあります。

## 6. 試験時間割

平成23年1月19日(水)か1月20日(木)のいずれか

(注) 1. 試験日および集合時間等については、受験票送付の際にお知らせします。

2. 面接時には「大学入試センター試験受験票」も必ず持参してください。

3. 試験場は福島大学（福島市金谷川1番地）です。

本要項末の大学案内図を参照してください。試験室および控室等については、試験当日、受験に関する諸掲示場に掲示します。

## 7. 出願手続

(1) 出願期間

平成22年12月6日(月)～12月10日(金) 午後5時まで

(2) 願書提出先

福島大学入試課 〒960-1296 福島市金谷川1番地 ☎024-548-8064

(3) 出願方法

入学志願者は、次の書類を取り揃え、この要項に添付した出願用封筒により、必ず書留速達にして郵送してください。出願期間を過ぎた場合は受理できません。郵送期間を十分考慮して早めに送付してください。ただし、平成22年12月9日(木)以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理します。

なお、本学所定の封筒以外で郵送する場合は、「人間発達文化学類推薦入試願書在中」と朱書し、必ず書留速達にしてください。

持参の場合、窓口受付時間は午前9時から午後5時までです。ただし、土曜日・日曜日・祝日は除きます。

出願に必要な書類	摘 要
1. 入学志願受付票, 入学志願票, 写真票, 受験票	本学所定の用紙 写真：大学入試センター試験と同様のもの、または出願以前3か月以内に撮影したものを指定の場所に貼付してください。(上半身、正面、脱帽、縦4cm×横3cm) センター試験成績請求票：『推薦国公立推薦入試用』を指定の場所に貼付してください。 もし、成績請求票（センター試験受験票）が届いていない場合には、成績請求票貼付欄に「成績請求票未着」と記入して出願してください。なお、成績請求票は到着次第提出してください。(郵送の場合は書留速達にしてください。)
2. 志願理由書	本学所定の用紙 志願者本人が作成したもの。

出願に必要な書類	摘 要
3. 推薦書	本学所定の用紙 出身学校長が作成したもの。
4. 調査書	出身学校長が作成し厳封したもの。
5. 検定料納入書 (大学提出用)	本学所定の用紙に必要事項を記入の上、検定料17,000円とともに金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行を除く。）の窓口へ持参し振り込んでください。ATM（現金自動預払機）、携帯電話およびパソコン等からの振り込みはできません。振り込み時に「検定料納入書」に領収印が押印してあることを確認して受け取り、大学提出用を出願書類に同封してください。 入学願書を受理した後は、いかなる理由があっても検定料は返還できません。
6. 受験票等送付用封筒	本学所定の封筒 志願者本人の郵便番号、住所、氏名を記入し、350円分の切手を貼ってください。 (注) 受験票は1月上旬に送付します。
7. 宛名票（シール）	本学所定の用紙 合格通知を受けるところの郵便番号、住所、氏名を記入してください。

(4) 志願票等出願書類の記入上の注意

- ① 黒か青のボールペンか万年筆を用い、楷書で記入してください。ワープロも可。
- ② 誤って記入した場合は、誤記入の部分を二重線で消し訂正してください。
- ③ ※印のところは記入しないでください。

(5) 出願状況について

本学「入試情報」ホームページに公開します。

## 8. 合格者の発表

平成23年2月4日(金) 午前11時

本学中央広場の掲示板および本学「入試情報」ホームページ (<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>) に合格者の受験番号を掲示します。合格者には「合格通知書」および入学に必要な手続・諸経費等を記載した「合格者心得」を送付します。

なお、学校長には選考結果を文書で通知します。

電話等による合否の問い合わせには応じません。

合格者発表当日は、インターネット回線が混雑するため、つながりにくい場合があります。

J R福島駅やJ R金谷川駅周辺で行われている合否電報受付等については、本学は一切関知していませんので十分注意してください。

## 9. 入学手続

- (1) 合格者は、下記期日に入学手続を完了してください。

平成23年2月13日(日) 午前10時から午後3時まで

直接来学できない場合、上記期日以前に、郵送での入学手続期間があります。詳細は「合格者心得」に記載します。

指定期日までに入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を失います。

なお、入学手続完了後に他の国公立大学に入学手続をすることは認められません。

- (2) 入学手続に際しては、入学料等を納付するほか、「合格者心得」に記載の書類を提出しなければなりません。

原則として、推薦入試に合格した者は入学を辞退することは認められません。ただし、特別な事情により入学を辞退する場合には、平成23年2月13日(日)までに「推薦入試辞退願（様式は任意）」を出身学校長名により、理由を付して提出してください。本学の入学辞退許可を得ずに、他の国公立大学（国際教養大学および新潟県立大学を除く。）の個別学力試験等を受験しても合格者とはなりません。

- (3) 入学時の大学への納入金

入学料 282,000円（予定）

授業料（前期分） 267,900円（予定）

（年額535,800円（予定））

注1 授業料は申し出により、前期分納入の際に後期分も合わせて納入することができます。

注2 入学時および在学中に入学料・授業料の改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

（参考）その他の諸経費

入学料および授業料以外の入学時の修学関係経費および各種会費の詳細については、「合格者心得」送付の際にお知らせします。

10. 平成24年度福島大学入学者選抜における大学入試センター試験の利用教科・科目について(予告)

平成24年度大学入試センター試験(平成24年1月実施)から、出題科目の選択範囲等が変更されることに伴い、本学で実施する入学試験の大学入試センター試験利用教科・科目について以下のとおり変更します。

※「倫理, 政治・経済」は「倫政経」と表記しています。

現 行

人間発達文化学類

日程・専攻		教科等	受験を要する教科名等	科目の選択方法
推薦入試Ⅱ	人間発達攻	国語 地理歴史 公民 理科	国語 地理歴史 公民 理科 数学 外国語 〔5教科7科目 または6教科7科目〕	国(必須) 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1または2 } から3 現社, 倫, 政経 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学I から1または2 数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1
	文専化探究攻	数学 外国語 〔5教科7科目 または6教科7科目〕		

【注意事項】

- ① 「地理歴史」, 「公民」, 「理科」については、指定された範囲の中で指定された科目数以上受験している場合は、「地理歴史」と「公民」の中の高得点の科目, 「理科」の中の高得点の科目, および以上2科目を除いて「地理歴史」, 「公民」, 「理科」の中で高得点の科目を用います。
- ② 「英語」についてはリスニングテストを含みます。(リスニングテストを免除された場合は、筆記試験のみとなります。)
- ③ 過年度の大学入試センター試験の成績については利用しません。今年度の大学入試センター試験の成績のみ利用します。



変 更 後

人間発達文化学類

日程・専攻		教科等	受験を要する教科名等	科目の選択方法
推薦入試Ⅱ	人間発達攻	国語 地理歴史・公民 理科	国語 地理歴史・公民 理科 数学 外国語 〔5教科7科目〕	国(必須) 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, } から3 現社, 倫, 政経, 倫政経から1または2 } 理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学I から1または2 数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1
	文専化探究攻	数学 外国語 〔5教科7科目〕		

【注意事項】

- ① 「地理歴史・公民」, 「理科」において、指定された範囲の中で指定された科目数以上受験している場合は、高得点の3科目を判定に用います。
- ② 地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目, 公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- ③ 「英語」についてはリスニングテストを含みます。(リスニングテストを免除された場合は、筆記試験のみとなります。)
- ④ 過年度の大学入試センター試験の成績については利用しません。今年度の大学入試センター試験の成績のみ利用します。

## Ⅳ 障害のある入学志願者の事前相談

身体に障害（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度）のある者は、受験上および修学上の配慮を必要とすることがありますので、出願の1か月前までに入試課まで申し出てください。

## Ⅴ 合格しなかった者の取り扱い

- (1) 推薦入試に合格しなかった場合に備え、本学および他の国公立大学の「一般入試」, 「専門高校・総合学科卒業生入試」の「前期—後期」の併願について、自由に2つまでの大学・学部（学類）に出願することができます。
- (2) 本学の「一般入試」, 「専門高校・総合学科卒業生入試」に出願する場合は、「福島大学一般入試学生募集要項」または「福島大学専門高校・総合学科卒業生入試学生募集要項」（10月下旬公表予定）を入手の上、改めて出願をしてください。その場合、大学入試センター試験の受験が必要です。
- (3) 本学の「一般入試学生募集要項」および「専門高校・総合学科卒業生入試学生募集要項」の請求方法は、本人氏名・住所を記入し390円分の切手を貼った角形2号封筒を同封のうえ、「一般入試学生募集要項請求」または「専門高校・総合学科募集要項請求」と朱書き、入試課あてに請求してください。表紙の2次元コード「携帯電話サイト」からも請求できます。

## Ⅵ 入試情報の開示

- (1) 試験問題について  
小論文については、問題および出題意図、面接については、資料を用いた場合、その資料を試験終了後に公開します。（閲覧のみ）  
また、人間発達文化学類および夜間主コースにおいては、面接の概要とねらいを公開します。（閲覧のみ）
- (2) 合格者の最低点について  
合格者が10人以上の場合、合格者の最低得点を合格者発表時に合格者受験番号の掲示板および本学「入試情報」ホームページに公開します。
- (3) 入学試験個人成績、調査書の開示について  
入学試験個人成績、出願書類として提出された調査書を受験者本人からの申請に限って開示します。
  - ① 申請期間 平成23年5月9日(月)～6月30日(木)
  - ② 申請者 受験者本人に限ります。(代理人は不可)

### ③ 申請方法

#### ア. 入試課窓口で申し込む場合

窓口備え付けの所定の申請書により申し込んでください。

なお、申し込みの際、次のものを持参してください。

◎本学受験票

◎返信用封筒（長形3号封筒に本人の宛名を明記の上、500円切手貼付）

#### イ. 郵送で申し込む場合

事前に所定の申請書に記入の上、入試課へ郵送してください。

なお、申し込みの際、申請書とともに次のものを同封してください。

◎本学受験票

◎運転免許証、旅券その他官公庁が発行した写真が貼付された証明書等の書類の写し

◎返信用封筒（長形3号封筒に本人の宛名を明記の上、500円切手貼付）

(注) 開示申請書を郵送で取り寄せる際は、封筒の表面に「成績開示申請書希望」と朱書の上、長形3号封筒（本人の宛名を明記し80円切手を貼付）を同封し、下記申請窓口へ送付してください。成績開示申請書は本学「入試情報」ホームページからダウンロードすることもできます。

④ 開示方法 受験者本人あてに書留郵便で後日送付します。

### ⑤ 開示内容

#### ア. 個人成績について

人間発達文化学類推薦入試Ⅰ：小論文、面接、実技試験および実技実績評価それぞれの得点と総合点。

行政政策学類推薦入試Ⅰ：小論文、面接それぞれの成績。

経済経営学類推薦入試Ⅰ：(A推薦)小論文、面接の成績の総合点。

(B, C推薦)小論文、面接、朱記要件加算の成績の総合点。

夜間主コース推薦入試Ⅰ：面接の得点。

共生システム理工学類推薦入試Ⅰ：小論文、面接それぞれの成績。

人間発達文化学類推薦入試Ⅱ：大学入試センター試験の教科・科目ごとの得点（本学が判定に使用した教科・科目のみ）、面接の得点および総合点。

#### イ. 調査書について

「指導上参考となる諸事項」、「総合的な学習の時間の内容・評価」および「備考」欄の記載事項を除き、複写したもの。

⑥ 申請窓口 福島大学入試課 〒960-1296 福島市金谷川1番地

## Ⅶ 志願者の個人情報保護

本学では、提出された出願書類より志願者の個人情報を、入学試験の実施により受験者の個人情報を取得しますが、これらの個人情報は、下記の目的でのみ利用し、個人情報の保護に努めます。

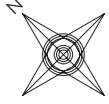
(利用目的)

- 入学者選抜に関する業務（統計処理などの付随する業務を含む）に利用します。
- 入学手続完了者にあつては、入学者データとして、入学後の修学指導業務および学生支援業務、授業料徴収業務に利用します。また、入学料免除、授業料免除および各種奨学金に申請（応募）した者にあつては、入学試験の成績等を当該免除者または奨学金貸与者の選考判定等に利用する場合があります。

なお、推薦入試Ⅱの志願者にあつては、センター試験の成績を取得する目的で、独立行政法人大学入試センター（以下、「大学入試センター」といいます。）へ、推薦入試Ⅰ・推薦入試Ⅱの合格者にあつては、国公立大学の分離分割方式による合格および追加合格決定業務を円滑に行うため、大学入試センターおよび併願先の国公立大学に個人情報の一部が送達されます。

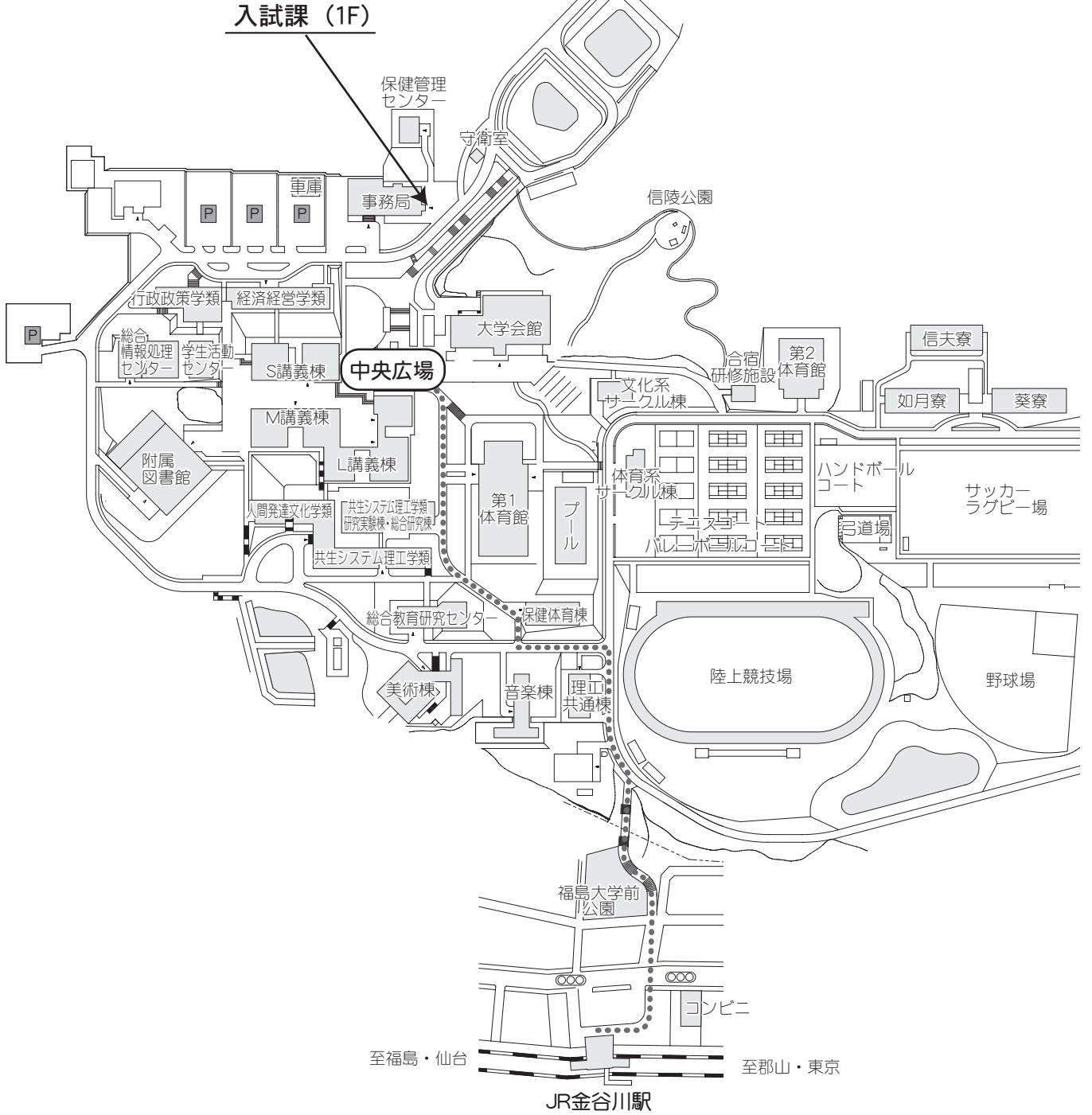
また、入学者選抜に関する業務を円滑に進めるため、業務の一部を外部に委託することがあります。この場合、委託先に対して、必要な個人情報を提供しますが、委託先との間で適切な取り扱いに関する契約の締結をはじめ、適切な監督を行います。

# 福島大学案内図



県道 福島・安達線 (旧国道4号)  
至福島 至松川町

入試課 (1F)



かなやがわ  
JR東北本線金谷川駅下車  
中央広場まで徒歩約10分



国立大学法人

福島大学

Fukushima University